

多摩福祉会 有償インターンシップ参加者ガイド ～その子らしさに出会う 5 日間～

このたびは、多摩福祉会のインターンシップにご参加いただきありがとうございます。

この 5 日間では、実際の保育現場に入り、子どもたちと一緒に過ごしなが、保育士の仕事や多摩福祉会が大切にしている保育を体験していただきます。

子ども一人ひとりの「その子らしさ」を大切にする保育の中で、たくさんのおもたちや職員との出会いを楽しんでください。

分からないことや不安なことがあれば、遠慮なく職員に相談してください。皆さんが安心して保育を体験できるよう、職員一同サポートします。

1. インターンシップについて

実施期間

2026 年 8 月～9 月 30 日の間で、原則 5 日間

参加日程は、希望を伺いながら受入施設と調整して決定します。

実施内容

5 日間を通して、原則として同じクラスに入り、担当の保育士と一緒に保育を体験します。

- おもたちとの遊びや生活を通じた関わり
- 保育活動への参加
- 食事・着替え・午睡など生活場面での援助
- 保育環境づくり
- 職員同士の連携や情報共有の様子を知る
- 毎日の振り返り・フィードバック
- 最終日のまとめ・振り返り

見学だけではなく、実際に子どもたちと関わりながら、保育士の仕事を体験していただきます。

報酬・待遇

- 時 給：受入施設の無資格有期契約職員の時給を適用
- 交通費：支給
- 給 食：希望者に提供（実費負担）
- 雇用契約を締結し、労災保険を適用します
※時給および給食費は施設によって異なります。詳細については、雇用契約を締結する際に、受入施設よりご案内します。

2. 多摩福祉会の保育を体験してください

多摩福祉会では、子ども一人ひとりの「その子らしさ」を大切にしています。

同じ年齢でも、好きなこと、得意なこと、感じ方や育ち方は一人ひとり違います。

「この子は今、何を感じているのかな？」

「なぜこの行動をしているのかな？」

「この子にとって、今必要な関わりは何だろう？」

子どもの姿をよく見て、その思いを受け止めながら、一人ひとりに合わせた関わりを考えることを大切にしています。

また、異年齢での関わりや、子ども同士の育ち合いを大切にしたい保育にも触れていただきます。

5 日間の体験を通して、「保育士は子どもに何をしてあげる仕事なのか」だけではなく、「子どもと一緒に何をつくっていく仕事なのか」を感じてみてください。

3. インターンシップで大切にしてほしいこと

① 子どもの姿をよく見てみましょう

「何をしているか」だけでなく、表情や言葉、友だちとの関わりなどにも目を向けてみてください。

② 分からないことは聞いてください

初めての保育現場で分からないことがあるのは当然です。

「これはどうしたらいいですか？」

「なぜこのように声をかけたのですか？」

など、気になったことは担当職員に聞いてみてください。

③ 積極的に関わってみましょう

子どもたちとの遊びや生活の中で、できることから積極的に関わってみてください。

ただし、子どもの安全に関わることや判断に迷うことについては、必ず職員に確認してください。

④ 1 日の終わりに振り返りましょう

毎日、担当職員とその日の振り返りを行います。

「できたこと」「気づいたこと」「疑問に思ったこと」「もっと知りたいこと」など、自由に話してください。

うまくできなかったことも大切な学びです。率直な気づきを聞かせてください。

4. 個人情報・守秘義務について

保育園では、子どもやご家庭に関する大切な個人情報を取り扱っています。インターンシップ中に知った情報は、インターンシップ終了後も外部に漏らしてはいけません。

特に、次のことは禁止します。

- 子どもの氏名、住所、家庭状況等を外部に話すこと
- 園内で知った情報を友人や家族等に話すこと
- 子どもや園内の写真・動画を個人のスマートフォン等で撮影すること

- 子どもや園内の写真・動画を SNS 等に投稿すること
- 園内の書類や資料を無断で持ち帰ること
- 子どもや職員について、個人が特定できる内容を SNS 等に投稿すること

インターンシップ中に知ったことについて、判断に迷う場合は、必ず職員に確認してください。

5. ハラスメントの防止について

多摩福祉会では、学生の皆さんが安心してインターンシップに参加できる環境づくりを大切にしています。

インターンシップ中、職員等からの不適切な言動や、セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント等により、不快な思いや困ったことがあった場合には、一人で抱え込まず、相談してください。

例えば、

- 性的な発言や不必要な身体的接触を受けた
- 容姿や恋愛等について不快なことを言われた
- 人格を否定するような発言をされた
- 必要以上に厳しい叱責を受けた
- インターンシップの立場を利用して不適切な要求をされた
- 職員との関係や職場の雰囲気について不安を感じた

など、「これってハラスメントなのかな？」と思うことでも構いません。**相談したことによって、不利益な取り扱いを受けることはありません。**

また、ハラスメントに限らず、体調や人間関係、保育についての不安など、困ったことがあればいつでも相談してください。

◆相談窓口

多摩福祉会 法人事務局

電 話：03-6804-8345

メール：jimukyokuokada0219@gmail.com

担当者：岡田

※担当職員に直接相談しにくい場合は、法人事務局へ直接ご相談ください。

6. 職員との関わりについて

インターンシップ中は、学生と職員がお互いに気持ちよく過ごせるよう、適切な距離を保って関わりましょう。

- 職員の指示や園のルールを守る
- 個人的な連絡先の交換は原則として行わない
- SNS 等で職員と個人的につながることは控える

- 子どもや職員と園外で個人的に会うことは控える
- 子どもとの個人的な写真撮影や連絡は行わない

分からないことがあれば、一人で判断せず職員に確認してください。

7. 体調不良・事故等があった場合

体調が悪くなった場合や、けがをした場合は、無理をせず、すぐに担当職員へ伝えてください。

また、子どもとの関わりの中で、

- 子どもがけがをした
- 自分がけがをした
- 対応に迷った
- 事故につながりそうな場面があった

などの場合も、必ず職員へ報告してください。

「これくらいなら大丈夫」と自己判断せず、気になったことは伝えることが大切です。

8. 5日間を通して大切にしてほしいこと

このインターンシップでは、「正解の保育を覚える」ことを目的としていません。子どもたちと実際に過ごし、

「なぜ、この子はこうしたのかな？」

「このとき、保育士はなぜこの声かけをしたのかな？」

と考えることを大切にしてください。そして、分からないことや疑問に思ったことを職員と一緒に考えてみてください。

5日間の体験を通して、子どもたちと一緒に過ごす楽しさや、子どもの小さな変化や成長に出会う喜びを感じてください。子ども一人ひとりの「その子らしさ」に寄り添い、その成長を支える保育の仕事の素晴らしさや魅力を、ぜひ実際の現場で感じてもらえたらと思います。

9. 最後に

インターンシップは、皆さんに多摩福祉会の保育を知ってもらうだけでなく、私たち職員も皆さんと一緒に子どもたちの成長や保育について考え、楽しく過ごす時間にしたいと思っています。

子どもたちとの出会い、職員との出会い、日々の保育との出会いを大切にしながら、皆さん自身が「どんな保育士になりたいのか」を考える5日間にしてください。

皆さんと一緒に保育ができることを、職員一同楽しみにしています。